


## 木山神社本殿



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	きやまじんじゃほんでん
所在地	真庭市木山
指定年月日	昭和32年11月5日
解説	木山神社は、社伝によると戦国時代の天正5年(1577)に焼失した後、同9年(1581)に再建されており、本殿はこのときの建築である。棟札によれば、江戸時代の寛永、明暦、元禄年間に修理が行われている。方3間、銅板葺(もと檜皮葺)の入母屋造平入で、正面に唐破風の上に千鳥破風を乗せた1間の向拝[こうはい]が付く。一部改造があるものの、組物、臺股[かえるまた]、木鼻の様式、主屋と唐破風向拝の納まりなど、よく時代の特徴を表し、江戸中期を代表する神社建築である。
アクセス方法	JR落合駅から車で約7分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場 
備考	